

同 何年何月何日	某學校何々ニ付某學校ト改稱ス	
同 何年何月何日	同學校ヲ卒業ス	
同 何年何月何日	何々試験ニ合格シ免許狀ヲ受ク	某 縣
同 何年何月何日	任某官(月俸何圓)(何等何級俸何圓)	同 上
何年何月何日	何々ニ付慰勞金何圓支給ス	同 上
同年同月同日	某々委員ヲ囑託ス	某 役 所
同 何年何月何日	何々取調ノ爲メ某所へ出張ヲ命ス	同 上
同 何年何月何日	依願退職ヲ命ス	某 縣

以下此體ニ倣ヒ楷書ニテ正シク認ムヘシ但官廳學校等廢置合併並ニ名稱變更及廢官解職官等改正等ハ米ヲ以テ記載スヘシ

履歴記載條項

- 一 任 官
- 一 轉 官
- 一 委 員
- 一 叙勳並從軍記章
- 一 勳 章
- 一 恩給並一時賜金
- 一 試験合格
- 一 轉籍改氏名

- 一 免 官
- 一 增俸減給
- 一 叙 位
- 一 賞典慰勞
- 一 武官補職罷役退役休職停職豫備後備等
- 一 入學、卒業、退學
- 一 官廳學校等廢置合併並ニ名稱變更及ヒ官等改正

備考 用紙美濃野紙、宛名記載スヘカラス

●島根縣訓令第十七號 (明治二十六年十月二十七日)

検査ヲ經タル小學校唱歌教科書中ノ歌詞及ヒ樂譜ヲ祝日其他ニ供用ノ件

島 縣 郡役所 市役所
戸長役場 町村役場

文部大臣ノ檢定ヲ經タル小學校唱歌教科書中ノ歌詞及ヒ樂譜ハ小學校ニ於テ祝日大祭日儀式ヲ行フノ際唱歌用ニ供スルコトヲ得

●島根縣訓令第二十號 (明治二十七年二月七日)

小學校ニケル修身科教員上ニ就キ注意

島 縣 郡役所 尋常師範學校
市役所 戸長役場 町村役場

第一 修身科ノ教育ニ於ケルハ神經ノ全身ニ貫通シ其ノ作用ヲ靈活ナラシムルニ同シ他ノ科目ト例視スヘキニアラス教員タル者ハ時ヲ以テ諒々訓告シ兒童ノ年齢及ヒ男女ノ別ニ從ヒ都鄙ノ風習各地人文ノ發達及ヒ生活ノ程度ヲ察シ又各人各個ノ性質ニ依リ精密ナル注意ヲ用ヒ此ノ重要ナル教科ノ目的ヲ達スルコトヲ力ムヘシ故ニ修身ノ教ハ専ラ師道ニ由テ悉ルコトヲ得ヘク一篇ノ教科書ニ依賴シ數時間ノ誦讀ヲ以テ満足スハキニアラサルナリ因テハ教科書ハ教員ノ資料ヲ助クル爲メニ

必要トスヘシト雖モ土地ノ情況ニ從ヒ或ハ生徒ノ繁費ヲ省ク爲メニ尋常小學校ニ在リテハ隱岐國ニ於テハ戸長、出雲石見兩國ニ於テハ市町村學務委員ノ意見ニ依リ生徒用教科書ヲ用キスシテ專ラ口授法ヲ用キルコトヲ妨ケサルヘシ

第二 教科書中ニ參照トシテ引擧スル所ノ古今ノ人ノ善行ハ兒童ヲシテ觀感興起セシムルノ益アリト雖トモ或ハ矯激ニ流レ中庸ヲ失ヒ又ハ變ニ處スルノ權道ニシテ歷史上ノ美談ト爲スヘキモ以テ教育上ノ常經ト爲スヘカラサル者アリ各教員ハ教授ノ際普通教育ノ適當ナル範圍ニ注意シ及フタケ偏弊ヲ避クルヲ要ス

●島根縣訓令第三十六號 (明治二十七年二月二十三日)

市町村ニ於テ更ニ設備ヲ爲スノ負擔ニ堪ヘサル場合ニ付二部教授其他ノ件

島 縣 郡役所 市役所

月長役場 町村役場

- 一 小學校ノ校舍狹隘ナルカ爲メニ學齡兒童就學ノ便ヲ缺クモ市町村ニ於テ更ニ設備ヲ爲スノ負擔ニ堪ヘサル場合ニ於テハ明治二十四年文部省令第十二號第九條ノ旨趣ヲ適用シ全校又ハ某校又ハ某級ノ兒童ヲ二部ニ區分シテ教授スルノ方法ニ依ルヘシ此場合ニ於テハ其市町村ニ於テ知事ノ許可ヲ受クヘシ
- 二 貧窮又ハ其他ノ事情ノ爲メニ小學校令ノ規定ニ依リ就學ヲ免除ヲ得タル兒童ニシテ夜間日曜日又ハ便宜ノ時日ニ於テ近易ナル方法ニ依リ相當ノ教育ヲ受ケタル者ニハ其望ニ依リ尋常小學校ニ於テ試驗ノ上其課程ニ照シ相當ノ證明書又ハ

卒業證書ヲ與フルコトヲ得但シ此場合ニ於テハ市長ハ知事戸長ハ島司町村長ハ郡長ノ許可ヲ受クヘシ

●島根縣訓令第六十八號 (明治二十七年九月二十六日)

小學校生徒ノ體操衛生ニ關スル文部大臣ノ訓令ニ付キ注意

島 縣 郡役所 尋常師範學校

市役所 月長役場 町村役場

市町村立小學校

今般小學校生徒ノ體育衛生ニ關シ文部大臣ヨリ左ノ通り訓令相成候ニ付能ク其主旨ヲ遵行シ自今一層小學校生徒ノ體育衛生ニ留意シ其發育ヲ保全センコトヲ期スヘシ

○文部省訓令第六號

北海道 府 縣

小學校ハ小學校令第一條ノ示ス所ニ依リ兒童ノ體育ニ留意シ教育ノ完成ヲ期セサルヘカラス我國舊來弓馬劍鎗ノ武藝盛行ハレ體育ノ道ニ於テモ缺クル所ナカリシモ維新後兵制變革ノ爲メ或種ノ武藝ハ其必要ヲ失ヒタルト同時ニ體育ノ衰頹ヲ致セル事又教員及ヒ生徒カ學問智識ノ進歩ニ急ニシテ動モスレハ智育ノ一方ニ偏重セル事及ヒ社會一般ノ衛生ノ必要ヲ感スルコト未タ深切ナラサル事是等多數ノ原因ノ爲メニ各般ノ學校ニ於ケル體育及ヒ衛生ノ方法ハ仍不完全ナルヲ免レス殊ニ小學校教育ノ時ハ方ニ身體發育ノ期ニ當リ一タヒ傷害ヲ受クルトキハ其ノ患ハ終

身ニ及ヒ哀ムヘキノ情況ヲ呈セントス今小學校ニ於ケル体育及ヒ衛生ニ關シ訓令スルコト左ノ如シ

- 一 體育ハ及フタケ活潑ナル運動ヲ課スルヲ要スヘク普通體操ニ於テモ亦兵式體操ト同シク手足及ヒ全身筋力ノ運動ヲ活潑ニシ氣血ノ代謝ヲ促スト同時ニ生徒自個ニ於テ意氣快活ヲ覺ユルノ効果アラシムヘシ體操ノ弊ハ或ハ死法ニ流レ態勢ヲ整ヘ並列ヲ正スカ爲メニ許多ノ時間ヲ費シ却テ生徒ヲシテ壓倦ノ氣ヲ生セシムルニ至ル此ノ如キハ却テ體操ノ精神ヲ失フモノナリ
- 二 高等小學校男生徒ニハ兵式體操ヲ課スル際軍歌ヲ用ヒ體操ノ氣勢ヲ壯ニスルコトアルヘシ又隨意科トシテ簡單ナル器械體操ヲ授クヘシ
- 三 小學校生徒ハ活潑ナル運動ニ便スル爲メニ不得已場合ノ外學校内ニ於テハ洋服又ハ和服ヲ問ハス都テ筒袖ヲ用ヒシムヘシ
- 四 放課時間ニ於テ佇立閑話シテ經過スルニ終ラシムヘカラス男女トナク成ルヘク活潑ニ大氣中ニ運動スルノ遊戲ヲ誘フヘシ或ハ大聲急走嬉戲ノ態ヲ以テ生徒ノ不良者ト爲シ沈靜ヲ以テ品行點ニ加フルカ如キハ當テ得タルモノニアラス
- 五 生徒ヲシテ筆記及ヒ誦誦ヲ務メシムルハ過度ニ腦力ヲ勞セシムルモノナレハ特ニ必要ノ場合ノ外之ヲ用ヒサランコトヲ要ス
- 六 小學校ノ課業ノ生徒ノ尤困難ヲ感スル者ハ作文トス初級ノ生徒ニハ作文ヲ授

- 七 クヘカラス若シ簡單ナル作文ヲ授クルモ此ヲ以テ試驗ノ問題トスヘカラス小學校ニ於テ施行スル所ノ試驗法ハ或ハ褒貶ノ意味ニ偏シ點數ニ依リテ每期席順ヲ上下シ又ハ賞與ヲ予フル等過度ニ生徒ノ神經ヲ刺衝スルノ弊アリ此レ獨リ普通教育ノ主義ヲ誤ルノミナラス亦生徒ノ體育ヲ害スル者ナリ自今各小學校ハ試驗ニ依レル席順ノ上下ヲ廢スヘシ但シ各級ニ優等生若干人ヲ撰拔シ以テ獎勵ヲ示スコトヲ妨ケサルヘシ
- 八 小學校ニ於テ生徒ハ喫烟スルコト及ヒ烟器ヲ夾帶スルコトヲ禁スヘシ華奢安逸ハ自然ニ軟弱ヲ招クモノナリ都會ノ生徒ノ學校ニ往來スル者或ハ車ニ乗ルカ如キハ學校紀律ノ外ニ係ルト雖モ校長及ヒ教員ハ注意ヲ加ヘテ成ルヘク歩行セシムルコトニ誘導スヘシ
- 九 明治二十七年八月二十九日

文部大臣 井上 毅

●島根縣訓令第百六十九號 (明治二十七年十月十九日)

高等小學校男生徒ニ兵式體操ヲ課スルノ際用フル軍歌ノ件

島 縣 郡役所 尋常師範學校
 市役所 戶長役場 町村役場
 市町村立小學校

高等小學校男生徒ニ兵式體操ヲ課スルノ際用フル軍歌ハ小學校唱歌用トシテ文部大臣ノ檢定ヲ經タルモノ若クハ本縣知事ノ訓令シタルモノニ限ル義ト心得ヘシ

廿六年十
二月宮内
省達乙第
八號參照

島根縣訓令第七十一號 (明治二十七年十月二十五日)
新年紀元節天長節參賀ニ關スル件

島 縣 郡役所
警察署 警察分署
收税署 監獄支署
土木管區員派出所
縣立學校 市役所
郡市立學校 戶長役場
町村役場 市町村立小學校

新年紀元節天長節參賀之儀左ノ通定ム

- 一 判任官准判任官待遇者(以上有位帶)ハ當日午前九時所屬廳へ參賀ス可シ
但シ松江市内ノ學校職員以下縣社神職ハ縣廳へ其他ハ其所屬郡役所へ參賀
ス可シ
- 一 遠地奉職ノ者又ハ職務ニ依リ參賀シ難キ者ハ賀表ヲ差出ス可シ
- 一 病氣又ハ忌服等ノ事故アリ參賀シ難キ者ハ其ノ參賀時限迄ニ届出忌服ノ外ハ
尙賀表ヲ差出ス可シ
- 一 參賀又ハ賀表ヲ受ケタル島司部長ハ其旨開申ス可シ

廿七年十
二月訓令
第九號ヲ以
テ賀表書式
改正ス

横ニツ折

訓令

三九〇

明治二十
九年二月
九日訓令
第九號
ニテ改正ス

島根縣訓令第七十六號 (明治二十七年十一月十三日)
請書書式

謹奉賀新年	年月日	官職氏名
-------	-----	------

折目
紀元節天長節賀表書式モ新年同様
ニシテ左ノ如ク記載スヘシ
謹奉賀
紀元節
天長節

折目
連名ノ節
ハ此ノ間
ニ列記ス
ヘシ
折目

島 縣 郡役所
警察署 警察分署
收税署 監獄支署
土木管區員派出所
縣立學校 縣立病院
縣立蠶織院 縣立檢蠶所

訓令

三九一

請書式左ノ通定ム

(半紙半葉)

御請書

何々(辭令書全文)

右謹テ御請仕候也

明治何年何月何日

族籍〔新拜命ノ外ハ族籍記載セス官職名ヲ
記シ解免ノトキハ氏名ノミヲ記ス〕

氏名印

知事宛

測候所 縣立育種場

縣立勸業展覽場

市役所 戶長役場

町村役場 市町村立小學校

島根縣訓令第十三號 (明治二十八年一月十九日)

小學校唱歌科歌詞及樂譜教科用ノ外文部省撰定ニ係ルモノニ限リ使用ノ件

島根縣 郡役所

尋常師範學校 市役所

戶長役場 町村役場

市町村立小學校

小學校唱歌科歌詞及ヒ樂譜ハ本縣小學校教科用トシテ定ムルモノ、外文部大臣ノ檢定ヲ經タル小學校教科用圖書中ニ在ルモノ又ハ文部省ノ選定ニ係ルモノニ限リ之ヲ使用スルコトヲ得

●學第一號 (明治二十九年一月四日)

戰後ニ於ケル教育上注意スヘキ事項及ヒ其方法

島根郡市役所

戶長町村役場

尋常師範學校

市町村立小學校

教育ノ事ハ忝クモ夙ニ

勅語ノ在ルアリ今更言ヲ俟タスト雖明治廿七八年戰役ノ結果我國ニ及ボス所ノ影響

至大ニシテ此際國民教育ノ基礎タル小學校ニ於テ教授上特ニ注意ヲ要スヘキモノ亦

尠少ナラス仍テ茲ニ其要領ヲ示ス其局ニ當ル者宜ク此旨ヲ體シ速ニ實効ヲ奏シ

勅語ノ歡旨ヲ顯揚センコトヲカムヘシ

右訓令ス

第一款

第一項 我國體ヲ知ラシムル事

一 勅語中天上無窮ノ皇運、皇祖皇宗ノ遺訓、祖先ノ遺風及忠孝ノ美ヲ明ニスル事

第二項 我國勢ヲ知ラシムル事

一 地圖ニ依リ日本帝國ノ版土及ヒ外國トノ關係ノ概略ヲ知ラシムル事

- 但尋常小學校ニ於テハ該教員自ラ日本地圖萬國地圖ヲ調製スヘシ
- 一 日清戰爭後ニ於ケル日本ノ地位ヲ知ラシムル事
- 一 通商貿易及ヒ輸出入ノ概況ヲ知ラシムル事
- 第三項 尙武ノ氣象ヲ養成スル事
 - 一 日清戰爭ノ概畧並ニ其戰爭中ノ美談ヲ知ラシムル事
 - 一 海陸軍ノ配置及ヒ軍備ノ概況ヲ知ラシムル事
 - 一 尙武的遊戯ヲ爲サシムル事
 - 一 二十一聯隊ノ歴史ヲ知ラシムル事
 - 一 男生徒ニハ特ニ軍人ノ出身ノ榮ヲ說話シ徵兵ノ義務ヲ自得セシムル事
 - 一 女生徒ニハ特ニ軍事ノ看護婦服務ノ狀況ヲ說話シ軍陣ノコトハ獨リ男子ノミナラザルコトヲ知ラシムル事
- 第四項 海國ノ思想ヲ養成スル事
 - 一 航海事業及ヒ海底電線ニ關スル談話ヲ爲ス事
 - 一 海及ヒ水産ニ關スル談話ヲナス事
 - 一 軍艦及ヒ商船ノ概要ヲ知ラシムル事
- 第五項 實業ヲ好愛スルノ氣風ヲ養成スル事
 - 一 實業ハ富國ノ源ナルコトヲ知ラシムル事
 - 一 實業家ノ美話ヲ爲ス事

- 一 我國農工商ノ概況ヲ知ラシムル事
- 一 水産事業ノ概略ヲ知ラシムル事
- 第六項 勤儉ノ思想ヲ養成スル事
 - 一 學校内外ノ洒掃等ヲ爲サシメ勞働ノ習慣ヲ作ル事
 - 一 日用各種ノ物品及ヒ衣食住ハ實用ヲ主トシ質素ヲ守ラシムル事
 - 一 生徒ノ貯金法ヲ勵行スル事
 - 一 時間ヲ嚴守スルノ習慣ヲ作ル事
- 第七項 身體及ヒ氣質ヲ鍛練スル事
 - 一 艱苦缺乏ニ堪フル習慣ヲ作ル事
 - 一 體操ハ形式ニ流レシムルヘカラサル事
 - 一 時々遠足運動ヲ爲サシムル事
 - 一 紀律ヲ重シ約束ヲ違ヘサルノ習慣ヲ作ル事
- 第八項 公共ヲ重スル氣風ヲ養成スル事
 - 一 公共ニ屬スル家屋橋梁道路樹木等ハ自他相警メテ毀損セサルノ習慣ヲ作ル事
 - 一 公共ノ事業ニハ勞ヲ吝マサラシムル事
 - 一 共同一致ノ習慣ヲ作ル事
 - 一 外國又ハ外國人ヲ輕侮セシメサルト同時ニ特ニ清國又ハ清國人蔑視スルノ感想ヲ抱カンムベカラザル事

第二款

- 第一項 尙武ノ氣象ヲ養成スル事
 - 一 對抗運動射擊演習ヲ參觀セシムル事
 - 一 戰爭兵器ニ關スル圖畫ヲ備フル事
 - 一 軍艦砲臺兵器等ヲ參觀セシムル事
 - 一 學校ノ式日ニハ在郷軍人ノ列席ヲ請フ事
 - 一 軍人ノ入退營又ハ行軍ノ節ハ生徒ヲ引率シテ之ヲ送迎スル事
 - 第二項 海國ノ思想ヲ養成スル事
 - 一 修學旅行ニハ幾分ノ船路行程ヲ加フル事
 - 一 海運及ヒ水産事業ニ關スル標本圖畫ヲ備フル事
 - 第三項 實業ヲ好愛スルノ氣風ヲ養成スル事
 - 一 實業場ヲ參觀セシムル事
 - 一 實業ニ關スル器具標本及ヒ圖畫ヲ備フル事
 - 一 樹木栽培ヲナサシムル事
 - 第四項 身體及ヒ氣質鍛練スル事
 - 一 漕舟水泳角力等ヲ運動ヲナサシムル事
 - 一 襟卷晴傘等ヲ用ヒサル習慣ヲ作ル事
- 附記 第一款ハ一般小學校ニ於テ之ヲ實行シ第二款ハ事情ノ許ス限リ之ヲ實行ス

モノトス又事項中高等科尋常科若クハ男生徒女生徒ニ依リ異ルヘキモノアリト雖モ之ヲ區別セサレハ實地教授ノ任ニ當ル者ニ於テ取捨スルヲ要ス

●島校縣訓令第三十五號

(明治二十九年三月十四日)

小學校ニ於テ用ユラルベキ唱歌科歌詞

左記ノ歌詞ハ所用欄記載ノ區別ニ依リ小學校ニ於テ之ヲ用ユルコトヲ得

歌名	所用	書名	作者
皇 御 國	唱歌	大東軍歌ノ内	芝 葛 鎮 作曲
命 を 捨 て	同	同	古 失 弘 政 同
惠 の 露	唱歌	同	乃 木 希 典 作曲
西 征 歌	唱歌	同	細 川 潤 次 義 同
壯 夫	同	同	横 井 忠 三 耶 同
戰 闘 歌	同	同	鳥 居 忱 作 歌
海 戰	同	同	吉 本 光 藏 同
修羅の野末	軍歌	同	水 井 建 子 作曲
彼處の川邊	同	同	雪 廼 舍 源 之 助 人 作曲

戶長役場 町村役場
市町村立小學校

明治二十七年ニ屬スル學事統計ニ於テハ學齡兒童修學歩合ハ全國ヲ七等ニ分チテ之ヲ比較シ而シテ本縣ハ其二等ニ位スルモ小學校在籍生徒ノ出席比例ニ於テハ生徒百人ニ付出席六十六人三步一厘ニシテ道廳府縣中本縣ノ下ニ在ルモノハ僅ニ三縣ニ止マレリ抑本縣ノ成績タル修學歩合ハ強チ他府縣ニ下ラサルモ出席歩合此ノ如ク低度ナルニ於テハ事實上修學兒童ニ於テモ名實相副ハサル者ノ多キヲ示スモノニシテ實際教育功程ノ進マサルコトヲ認ムヘキモノトス右ハ畢竟督責上周到チ缺クノ然ラシムル所トシテ教育ノ隆進ヲ期スヘキ今日ニ際シ最モ注意ヲ要スヘキモノトス依テ自今出席督責上ニハ努テ周到敏速ヲ期シ教育功程ノ進歩ヲ計ルヘシ

●島根縣訓令第百二十九號 (明治二十九年八月二十五日)

學齡未滿ノ兒童ヲ小學校ニ就學セシメザル様注意ノ件

學齡未滿ノ兒童ヲ小學校就學セシムルハ學校管理上ニ於テ不都合ナルノミナラス兒童身神ノ發育上其害尠カラサルヲ認メ文部大臣ヨリ學校衛生顧問ニ諮詢セラレタルニ之ヲ嚴禁スルノコトヲ答申セル旨同大臣ヨリ訓令セラレタリ就テハ自今深ク注意シ學齡未滿者ヲ就學セシムルカ如キコトナキ様取扱フベシ

●島根縣訓令第九號 (明治三十年二月一日)

島 廳 郡役所 縣立學校
市役所 戶長役場 町村役場
市町村立小學校

學校清潔方法

學校ノ清潔ハ衛生上忽ニスヘカラサル所ナルヲ以テ今般左ノ通り清潔方法ノ標準ヲ定ム各學校ハ之ニ準據シ其清潔ヲ保タンコトヲ務ムヘシ

清潔方法ヲ分チテ日常清潔方法及ヒ浸水後清潔方法トス

甲 日常清潔方法

- 一 教室及ヒ寄宿舎ハ毎日人ナキ時ニ於テ先ツ窓戶ヲ開キ如露ヲ以テ少シク牀板及ヒ階段ヲ潤ホシ掃出シタル後濕布ヲ以テ建具等ヲ拭フヘシ但シ掃除ノ爲メニ室內ヲ潤ホスハ生徒ノ再ヒ之ニ入ルマテニ充分乾燥シ了ルヲ度トスヘシ
- 二 教室及ヒ寄宿舎ニハ其人員ニ應シ紙屑籠ト少量ノ水盛レル唾壺トヲ備ヘ紙片其他棄却物ハ必ス紙屑籠ニ投入シ痰唾ハ必ス唾壺ニ於テシ決シテ室內廊下等ニ放下セシムヘカラス
- 三 紙屑籠及ヒ唾壺ハ毎日之ヲ掃除スヘシ
- 三 寄宿舎内ニ於テハ戶外ニ於テ用キル履物ヲ禁スヘシ但シ止ムヲ得サル事情アリテ特ニ之ヲ許ストキハ適宜ノ方法ヲ設ケテ室内ノ不潔ニ陥サルコトヲ務ムヘシ

- 四 靴ノ儘昇降スル校舍ノ出入口ニハ人員ニ應シ靴拭ヲ備フヘシ
 - 五 寢具ハ毎月少クトモ一回之ヲ日光ニ曝シ被覆寢衣等ハ務メテ洗濯セシムヘシ
 - 六 便所ノ尿溝及ヒ注壁等ハ毎日一回水ヲ以テ洗ヒ圍房ハ濕布ヲ以テ拭フヘシ
糞箱ニハ成ルヘク蓋ヲ設クヘシ
 - 七 糞壺内ニハ防臭藥トシテ粗製過滿俺加里（以上百倍乃）、粗製格魯兒滿俺（至三百倍）、硫酸鐵、泥炭末、木炭末、乾燥土粉、灰等ヲ撒布シ期ヲ愆ラス汲取ラシムヘシ
 - 八 食堂炊事場、浴室、洗面所、洗濯所等ハ時々窓戸ヲ開キ空氣ヲ通シ惡臭煙氣又ハ湯ノ鬱滯ナキヲ務メ且掃除ヲ怠ルヘカラス殊ニ食堂ニ於テハ每食前如露ヲ以テ牀面ヲ潤ホシ食卓ニハ濕布ヲ以テ其食卓等ヲ拭フヘシ
 - 九 芥菜場ノ不潔物ハ期ヲ愆ラス搬送セシムヘシ
 - 十 下水ハ常ニ疏通セシメ炊事場、浴室、洗面所、洗濯所等ノ下水ハ毎月少クトモ一回大掃除ヲ行フヘシ
 - 十一 庭園、體操場、遊戯場、簷下、核下等モ亦常ニ清潔ヲ保タシムヘシ
- 乙 定期清潔方法
- 定期清潔方法ハ每年少クトモ一回夏休又ハ其他ノ長休ニ際シ之ヲ行フモノトス
- 十二 先ツ教室、寄宿舎内等ニ在ル机、腰掛、寢臺、戸棚等ヲ室外ニ出シ戸、障子、窓掛等ヲ外シ敷物ヲ剥キタル後如露ヲ以テ牀板及ヒ廊下ヲ潤ホシ天井、四壁、牀板、廊下等盡ク之ヲ掃ヒ然ル後清水ヲ以テ洗拭スヘシ但シ汚染殊ニ甚シキ部分及ヒ

- 十三 器具等ハ熱湯汁若クハ石鹼水ヲ以テ洗拭スヘシ
 - 十三 簷下、牀下等モ手ノ届ク限り之ヲ掃ヒ外部ノ羽目及ヒ簷廻リハ龍吐水等ヲ以テ洗濯スヘシ
 - 十四 寢具、窓懸、敷物等ニシテ洗濯シヘキモノハ之ヲ洗濯シ其洗濯シ得ヘカラサルモノハ先ツ其塵ヲ掃ヒ書籍、文具等ト共ニ數日之ヲ日光ニ曝シ刷掃スヘシ
 - 十五 器具、寢具等ハ總テ室ノ乾キタル後ニアラサレハ室内ニ持込ムヘカラス
 - 十六 室ハ掃除後五日間以上窓戸ヲ開キテ空氣及ヒ日光ヲ通セシムヘシ
 - 十六 牀板、壁面等ニ虧障アルモノハ此際之ヲ填塞シ風抜穴、烟突等ノ塵煤ハ之ヲ却去スヘシ
 - 十七 浴室、洗面所、食堂、炊事場、生徒控所、雨中體操場、便所、下水、芥菜場等ニシテ破損アルモノハ此際盡ク修理ヲ加ヘ且ツ大掃除ヲ行フヘシ
- 丙 浸水後清潔方法
- 洪水ノ爲メ水害ヲ被リタル學校ハ開校前左ノ清潔法ヲ施行スヘシ
- 十八 水ニ浸サレタル校舍殊ニ寄宿舎ノ建具、牀板等ハ取外シテ空氣ヲ通シ且牀下ノ汚物、泥土ヲ除去シ場合ニ於テハ焚火、火鉢等ヲ用キテ充分ニ乾燥セシムヘシ
 - 十九 建具、牀板、校具、腰張等ノ浸水シタルモノハ清水又ハ熱湯ヲ以テ洗拭シタル後可成之ヲ日光曝シ充分ニ乾燥セシムヘシ

二十 浸水ノ害ヲ被リタル井戸ハ必ス數回之ヲ浚深シテ汚物ヲ除キ井戸側ハ清水ヲ以テ洗ヒ能ク水澄ミタル後ニ之ヲ使用スヘシ但シ開校後一箇月間ハ必ス其水ヲ煮沸シテ飲用スヘシ

二十一 右ノ外定期清潔方法ニ掲ケタル各項ヲ適宜應用スヘシ

●島根縣訓令第十號 (明治三十年二月四日)

專科教員其他ノ教員ノ俸給額ニ關シ意見書ノ件

島 縣 郡役所
局長役場 町村役場

本年勅令第二號第五條ニ依リ專科教員及ヒ補助教授スル本科准教員ノ俸給額ニ關シ戸長町村長ノ意見ヲ聞クトキハ島司郡長ヲシテ通達セシムルニ付其指定ノ期限内ニ意見書ヲ差出スヘシ

●島根縣訓令第二十三號 (明治三十年十一月十九日)

年功加俸ヲ受クル者ノ資格異動又ハ校名ノ變更等ノ際證書ノ交付方

島 縣 郡役所 市役所
局長役場 町村役場 市町村立小學校

小學校教員年功加俸ヲ受クル者ニシテ准教員ヨリ正教員ニ轉シ又ハ校名ノ變更若クハ高等小學校ノ併置廢止アルトキハ其都度證書ヲ交付シ來リタルモ爾今其學校同シキ時ハ更ニ之ヲ交付セス

●島根縣訓令第三百二十二號 (明治三十年十二月十八日)

曆年末現在學齡兒童中盲啞者調表式

曆年末現在學齡兒童中盲啞者調別紙表式ニ依リ明治二十八年曆本縣訓令第九號曆年末調査ニ依ル統計表ト併セテ進達スヘシ

何郡(市、町、村)盲啞者調査表		盲啞者		盲者		啞者	
		學校ニ於テ修業シ已ニ退校シタル者		學校ニ於テ修業スル者		學校ニ於テ修業セサル者	
		女	男	女	男	女	男
學校ニ於テ修業シタル者							
學校ニ於テ修業スル者							
學校ニ於テ修業セサル者							
學校ニ於テ修業シ已ニ退校シタル者							
學校ニ於テ修業スル者							
學校ニ於テ修業セサル者							
學校ニ於テ修業セサル者							

合 計	學校ニ於テ修業シ已ニ退校シタル者		男	女
	學校ニ於テ修業スル者		男	女
	學校ニ於テ修業セサル者		男	女

●島根縣訓令第百三十五號 (市役所へハ特別訓令島根縣 學第百廿一號ヲ以テ訓令)

(明治三十年十二月二十日)

體操科目器具ノ設備ノ件

小學校生徒ニ就テハ其身體ノ發達ニ留意スヘキハ勿論ニシテ其目的ヲ達スルニ資スヘキ體操器械ノ設備ヲ要スル義ニ有之モ未タ之ヲ設備セサル學校少シトセス體育上頗ル缺點ニ有之右ハ各學校トモ設備ヲ要スルモ先以テ高等小學校ヲ併置スル小學校ヨリ設備セシムルヲ要スルニ付其設備ナキ學校ニ就テハ左記品目ノ通り明治三十一年度ノ初ニ於テ取設クル豫算編製方其町村ヘ示達シ實施ヲ期スヘシ

體操科目器具品目

- 一 木 銃 堅牢ニシテ相當ノ重量アルモノ但 男三學年以上ニ等シキ數 但シ銃架ヲ要ス
- 一 背 囊 同 前
- 一 木 刀 中隊小隊教練ニ 要スル指揮刀
- 一 陸 鈴 六十組以上 男生徒六十人未滿ナルト キハ其員數ニ等シキ數

- 一 珠 竿 六十箇以上 男二學年生六十人未滿ナルトキハ其員數ニ等シキ數
- 一 棍 棒 輕量ノ 六十組以上 前
- 一 鞞 毬 一鐵 棒
- 一 フートボール 一 大 綱 綱引
- 一 木 馬 一 橫 木

●島根縣訓令第十號 (明治三十一年一月二十七日)

小學校ニ於テ男兒ト女兒學校ヲ別ニスル件

島 縣 郡役所 市役所
戶長役場 町村役場 市町村立小學校

方今小學教育ノ普及ト改良トヲ計圖スルノ際小學校ニ於テ男兒ト女兒トハ務メテ學級ヲ別チ教室ヲ異ニシ尙便宜學校ヲ別ニシ各其性質慣習ト生活ノ必要トニ應シ最モ適切ナル方法ヲ以テ之ヲ教育センコトヲ要ス此ノ如キハ管ニ男兒教育ノ實相ヲ益發揮スルニ必要ナルノミナラス又女兒教育ヲ益女兒ニ適切ナラシムルニ依リ自ラ女兒就學ノ數ヲ増スコトヲ得ン故ニ公立小學校ニ於テハ左ノ要領ニ依リ計畫スヘシ

一 一學校女兒ノ員數一學級ヲ構成スルニ足ルトキハ女兒ノ爲メニ學級ヲ別ニスル事

一 尋常小學校若クハ高等小學校又ハ尋常小學校ノ教科ト高等小學校ノ教科トヲ併置スル小學校ヲ設置スル場合ニ於テ通學ニ妨ケナク且ツ女兒ノ員數一學校ヲ構成スルニ足ルヘシト認ムルトキハ女兒ノ爲メニ學校ヲ別ニスルコト

●島根縣訓令第四十九號 (明治三十一年三月二十四日)

市町村立小學校訓導其他ノ者他府縣ニ教員檢定出願ニ關スル件

島根縣 郡役所 市役所
市町村立小學校訓導准訓導奉職ノ者ニシテ道廳及ヒ他府縣ニ小學校教員檢定ヲ出願
セントスルトキハ豫メ本縣知事ノ許可ヲ請フヘシ
戶長役場 町村役場 市町村立小學校

●島根縣訓令第二百二十二號 (明治三十一年八月四日)

公立學校校地ニ關シ稟請書ニ明記スベキ事項

島根縣 郡役所 市役所
戶長役場 町村役場

公立學校校地體操場農業實習場等ヲ含ムニ關シ規定ニ基ツキ許可又ハ認可ヲ受クヘキモノハ其稟請書ニ左ノ各項ヲ明記スヘシ又稟請ノ手續ナキ場合ニシテ右校地ニ異動ヲ生シタルトキハ同様報告スヘシ

- 一 町村、大字、字、地番、地目、段別
- 一 舊所有者、新所有者
- 一 購入、賣却、讓受讓渡等年月日
- 一 所有目的
- 一 校舍移轉、建築増築等工事著手年月日

●島根縣訓令第二百二十三號 (明治三十一年八月四日)

公立學校校地處分通知ニ關スル件

島根縣 郡役所

公立學校校地體操場農業實習場等ヲ含ムニシテ町村ノ所有又ハ町村内大字、區ノ所有其町村ニ對シ借地料ヲ徵セサルモノニ係ルモノハ免租相成ルヘキ處從來其手續ノ脱漏ニ屬シタルカ爲メ免租地タルヘキモノモ有租地トナリ居リ又ハ之ニ反シテ有租地タルヘキモノモ免租地トナリ居ルモノモ實際之ナキヲ保シ難シ依テ此際其所轄内公立學校々地ニシテ免租地タルヘキモノハ總テ別紙様式ニ依リ取調ヘ其所轄稅務署ヘ通知スヘシ又右通知後ニ於テ免租地ノ有租地トナルヘキモノ又ハ有租地ノ免租地トナルヘキモノ、起リタルトキハ一箇月毎ニ取纏メ圖面ヲ添ヘ右同様通知スヘシ(明治三十二年訓令第六十四號ニテ追加)

(別紙)

通知書様式

明治何年何月中公立學校校地處分通知書

許可認可 等年月日	郡名	町村名	大字	字	地番	地目	段別	種目	事由

右及通知候也

年月日

島司郡長 氏

名

稅務署長宛

備考 事由ノ關ニハ開校、廢校、移轉又ハ購入、賣却、讓受、讓渡等ノ事項及其年月日等詳細事由ヲ記載スヘシ

●島根縣訓令第二百二十八號 (明治三十一年八月二十日)

學校職員ノ職印調製ノ件

島 廳 郡役所 縣立學校
市役所 戶長役場 町村役場

學校職員ノ職印ヲ調製セントスルトキハ自今職名ノミヲ彫刻スヘシ

●島根縣訓令第六十九號 (明治三十一年十一月二十二日)

樣式ヲ執行スベキ國旗掲揚ニ關スル件

島 廳 郡役所
市役所 戶長役場
町村役場

小學校ニ於テハ儀式ヲ執行スヘキ大祀令節日及其學校ニテ特ニ儀式ヲ執行スヘキ日ヲ以テ國旗掲揚ノ日トナスヘシ又國旗ハ國家ヲ表彰スルモノナレハ之ヲ掲揚スルニ

三十二年
十二月
令第四百
十號ニ依
リ改正ス

ハ其裝置ヲ莊嚴ニシ生徒ヲシテ尊重スヘキモノタルコトヲ知ラシムヘシ

●島根縣訓令第七十號 (明治三十一年十一月二十四日)

學齡兒童就學及ヒ生徒出席百分比例累年比較表提出ノ件

島 廳 郡役所
市役所 戶長役場
町村役場 市町村立小學校

市町村立小學校及ヒ其代用私立小學校ニ於テハ學校内ニ適宜ノ場所ニ左記各項ニ基キ本縣下各郡市及ヒ島廳郡役所轄内各町村立小學校設置區域内各學校下(一區域内ニ校二校以上設置ノ市町村ニ限ル)學齡兒童就學及ヒ生徒出席百分比例累年比較表ヲ揭示スヘシ

一 本縣下各郡市學齡兒童就學及ヒ生徒出席百分比例累年比較表ハ別紙樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ(以下之ニ同シ)其數ハ毎年之ヲ告示ス

一 島廳郡役所轄内各町村同上比較表ニ係ル數ハ島司郡長ニ於テ告示スヘシ

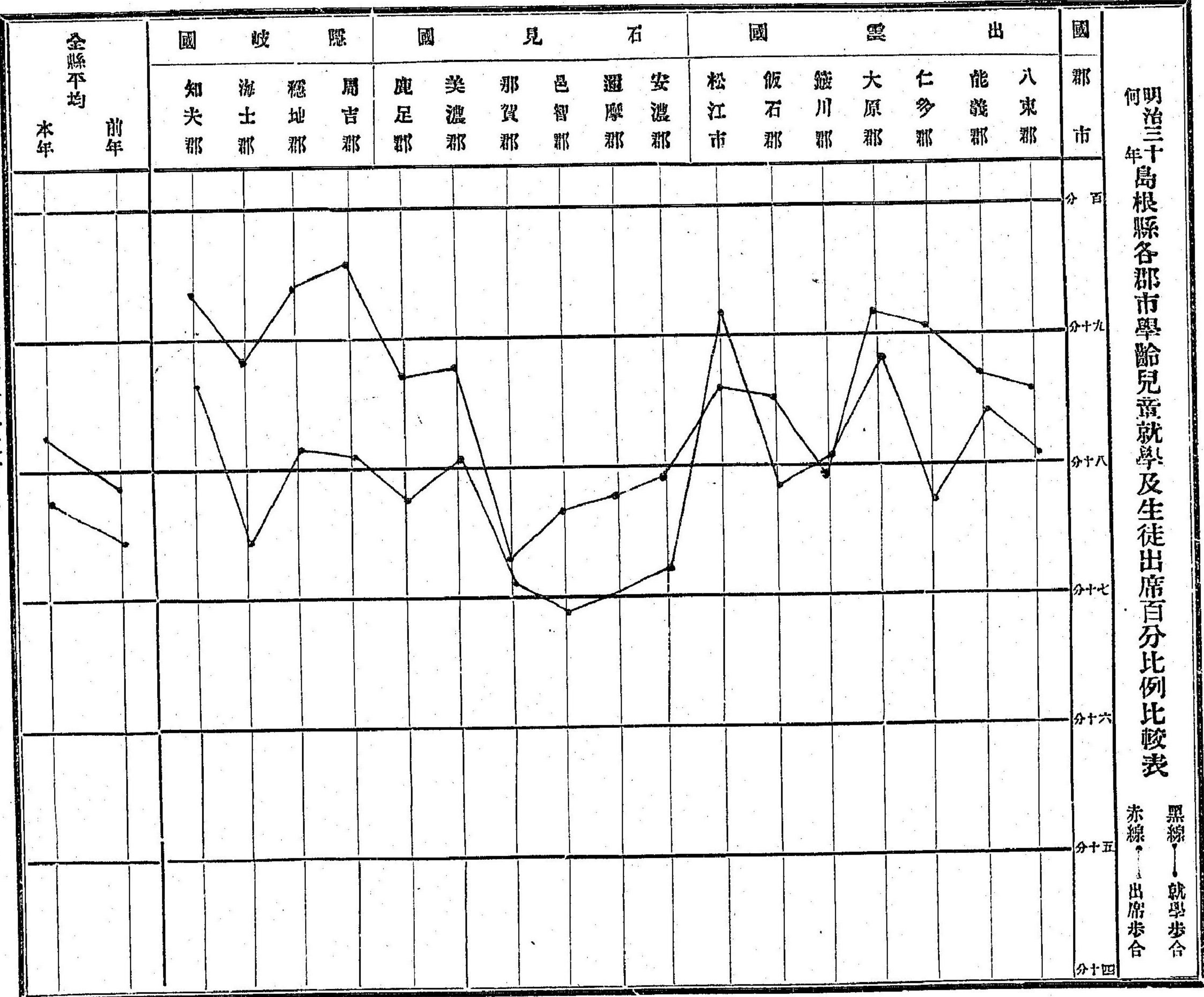
一 學校設置區域内各學校ニ係ル數ハ市長戶長町村長ニ於テ之ヲ取調フヘシ

一 比較表ノ計數ハ左ノ法ニ依ルモノトス
一 就學比例ハ年末現在學齡兒童未タ義務ノ生セサル者ヲ除クヲ以テ年末現在尋常小學校就學者ト學齡内尋常小學校卒業者トヲ併セタル總數ヲ除シタルモノトス

一 出席比例ハ全一ケ年日々出席生徒總數ト日々缺席生徒總數トヲ併セタルモノヲ以テ日々出席生徒總數ヲ除シタルモノトス

明治三十一年島根縣各郡市學齡兒童就學及生徒出席百分比比較表

黑線——就學割合
赤線——出席割合



備考 用紙寸法曲尺ニテ凡堅壹尺參寸橫壹尺六寸五分トス

●島根縣訓令第一號

(明治三十二年一月四日)

小學校ニ於ケル校具設備其他ニ關スル件

島 縣 郡役所
市役所 町村役場
局長役場

縣下初等教育ノ狀況ハ學齡兒童ノ就學生徒ノ出席校地校舍校具等ノ設備教員ノ待遇等漸次歩ヲ進メタルモアリト雖モ兒童ノ就學未タ普シトセス生徒ノ出席未タ多シトセス教員ノ待遇未タ渥シトセス殊ニ校地校舍校具等ノ設備ハ頗ル不充分ナルモ尙ホ鮮カラス然ルニ幸ニ明治三十一年ハ風水ノ災害ナクシテ農産諸作ハ最モ豊穰ヲ呈シタリ此時ニ際リテヤ教育上諸般ノ發運進歩ヲ圖ルヘク殊ニ其ノ最モ不充分ニ屬スル校地校舍校具等ハ其設備ヲ進メ實地支障ナカラシメンコトヲ期セサルヘカラス又學校基本財産造設ノコトノ如キハ最モ幼稚ナレハ相當ノ計畫ヲナスヘク其他學校樹栽ノ如キ學田學林等設置ノ如キ苟モ學校ニ關スル資財ヲ造クルノ方法ヲ立ルハ今日ニ於テ洵ニ必妥ナリトス其局ニ當ル者ハ此時機ヲ空過セス著々施設センコトヲ務ムヘシ

●島根縣訓令第十三號

(明治三十二年二月九日)

學校校具構造ニ關スル件

小學校ノ校具ハ總テ其ノ構造ノ完キヲ要スルハ勿論ナルモ中ニ就キテ生徒用机腰掛

其ノ最タルモノトス若シ夫レ机及ヒ腰掛ノ構造ニシテ生徒ノ身體ニ適セザランカ
 管ニ生徒ヲシテ修業ニ不便ヲ覺ヘシメ其ノ學力ノ進歩ヲ害スルノミナラス身體ノ姿
 勢ヲ失シ眼力ヲ損シ其ノ甚シキニ至テハ終身不具者タル不幸ニ陥ラシムルコトナキ
 ナ保セス洵ニ寒心スヘキナリ然ルニ縣下小學校中机腰掛等ノ頗ル不完全ナルモノ尙
 ホ未タ少ナカラス右等ハ此際改造ヲナシ教授上ニ衛生上ニ遺憾ナキコトヲ期スヘシ
 ●島根縣訓令第二十三號 (明治三十三年二月二十四日)

●島根縣訓令第二十三號 (明治三十三年二月二十四日)

島根縣 郡役所 市役所
 戶長役場 町村役場 市町村立小學校

縣下普通教育ノ事業タル漸次發達上進ノ實ヲ呈スルモ時運ノ振興社會ノ大勢ハ決シ
 テ目下ノ狀況ニ安スルヲ許サズ益々其ノ地步ヲ進メ將來ノ隆盛ヲ期セサルヘカラス
 然ルニ一方ヲ願レハ獨リ教育ノミナラス百般ノ事業亦擴張ヲ要セサルハナシ地方公
 費歳ニ月ニ益々多キヲ加ヘ自ラ教育事業ニ其影響ヲ及ホスノ虞ナキニアラス加之若
 シ一朝水旱疫癘等ノ不幸ニ遭遇スルコトアラシカ管ニ其ノ擴張ニ頓挫ヲ來タスノミ
 ナラス或ハ其ノ維持ノ費用ニモ支障ヲ生シ中途ニシテ退歩スルカ如キ苦況ニ陥ルコ
 トナキヲ保セス是レ實ニ國家ノ盛衰人禍福ノ分カル、所猛省セサルヘカラサルナリ
 夫レ教育ハ其効ヲ永遠ニ期スル國家重要ノ事業ナレバ年ノ豊凶等ニ依リ消長シ得ヘ

キモノニアラス確實ナル根底ノ上ニ之ヲ發達上進セシメサルヘカラス依テ此際市町
 村ハ宜ク適宜ノ方法ニヨリ一層教育基本財産ノ増設ヲ圖リ以テ普通教育ノ根底ヲ鞏
 固ナラシメサルヘカラサルナリ而シテ教育基本財産ヲ設クルノ方法タル一ニシテ足
 ラスト雖モ其利益ノ廣大ニシテ且確實ナルモノヲ撰擇セサルヘカラサルヤ論ヲ俟タ
 ス惟フニ本縣ハ到ル處山林ニ富ミ其地味概ネ肥沃其經營宜シキヲ得ルトキハ將來ニ
 巨額ノ收利ヲ増加シ以テ縣下ノ一大富源ト爲ヌヲ得ヘシ現ニ隱岐國周吉郡布施村地
 方ノ如キ其龜鑑タリ殊ニ其鬱葱タル美觀ハ事業ノ遠大確固ナルト共ニ高尚著實ノ氣
 風ヲ養成シ浮薄輕躁ノ陋習ヲ洗除スル等人心ニ及ホス所ノ影響教育上特ニ留意スヘ
 キモノアリ然ラハ則チ其山林ヲ以テ教育基本財産ニ充ツルノ洵ニ適當ナルコトヲ信
 ス又山林ノ經營ハ管ニ教育上ニ於テ重要ナルノミナラス治水上國土ノ保安泉源ノ涵
 養等主シテ其効果ニ賴ラサルヘカラス然ルニ近年山林ノ伐採其宜キニ適セス殆ト荒
 廢ニ屬セントスルモノ尠ナカラス今ニシテ其經營ヲ怠ルトキハ水災旱害頻リニ到リ
 如何ナル慘狀ヲ現出スルヤモ測ルヘカラス近ク明治廿六七年ノ水災ヲ回顧シ實ニ寒
 心ニ堪ヘサルナリ其他山林ハ空氣ヲ清爽ニシテ人生ノ健康ヲ助ケ氣候ヲ緩和シテ農
 産ヲ利シ或ハ魚族ノ群游ヲ招致スル等其關係スル所屈指ニ追アラス今其レ學林ヲ以
 テ一般山林經營ノ模範トシ兼テ國民民福ヲ増進スルヲ得ンカ其間接ノ効益亦尠ナカ
 ラス是レ教育基本財産ニ充ツルニ山林ヲ以テスルヲ最モ適當ナリトスル所以ナリ又
 小學校ニ於テ其學林ノ一部若クハ別ニ學校樹栽地ヲ設ケ生徒ヲシテ樹木ノ栽培ニ從

ハシメ日夕其自ラ栽培シタル樹木繁茂ノ景況ヲ目撃セシメンカ其快樂ト利益トヲ感スルト同時ニ益々山林愛護ノ必要ヲ認識シ學校及ヒ郷土ヲ親愛スルノ念慮ヲ增長シ延テ忠君愛國ノ思想ヲ煥發スル等基本財産タル學林ノ設ケト相待テ普通教育ノ根底ヲ確立シ德育ノ發達ヲ裨補シ併テ自他一般ノ福利ヲ増進スルコトヲ得ン依テ市町村及ヒ各小學校ニ於テ左ノ學林及ヒ學校樹栽設置標準ニ基キ銳意之カ實行ヲ務ムヘシ

學林學校樹栽地設置標準

- 第一條 學校ハ小學校基本財産ニ充ツル爲メ若クハ教育ニ關スル費用ニ充ツル爲メ之ヲ設置スルモノトス
- 第二條 學林ハ小學校設置區域ニヨリ之ヲ設置スヘキモノトスルモ已ムヲ得サル事情アルトキハ其區域内ノ町村ニ於テ設クルモ妨ケナシ
- 第三條 學林ハ市町村有又ハ市町村内ノ部落有ノ山林原野ヲ以テ之ニ充テ他ノ山林ヲ買受ケ若クハ借受クル等其便宜ニ依ルヘシ
- 第四條 學林ハ其町步廣大ニシテ土質善良ナルモノヲ撰擇スヘキモ成ルヘク學校附近ニテ學校ヨリ眺望シ得ヘキ場所又ハ多數生徒通學ノ沿道ニ設クルチ可トス
- 第五條 學林ニハ杉檜其他有用ノ良材タルヘキ樹木ヲ植栽スルヲ可トスルモ素ヨリ經濟ヲ目的トスルモノナレハ其土地ノ狀況ニヨリ檜櫟ノ如キモノヲ植エ薪炭林ニ造リ又ハ之レニ植栽セスシテ天然林トスルモ妨ケナシ
- 第六條 學林ノ經營ハ永年ニ渉ルモノナルヲ以テ其著手ノ初メニ方リ土質方向氣候

及ヒ運搬ノ便否等ヲ篤ト審案シ完全ナル設計ヲ爲シ違算ナキヲ期スヘシ

- 第七條 學林ハ其所屬學校ノ生徒ヲシテ保護ニ注意セシムヘシ又植樹除草等ヲナサシムルハ妨ケナキモ過度ノ勞働ヲ爲サシムヘカラス
- 第八條 學林ハ其管理者ニ於テ學校臺帳ヲ備ヘ左ノ事項其他ノ要件ヲ記載スヘシ
 - 一 學林設置年月日
 - 二 地目及段別
 - 三 郡市町村字名等
 - 四 所有地借地等ノ區別借地ハ借用期限等
 - 五 植樹セシ年月日
 - 六 植樹ノ種類、員數、反別、費用ノ概額等
 - 七 除草、補植、間伐等ノ概要
 - 八 伐採樹木ノ種類、員數、價格、年月日等
- 第九條 學林ニハ路傍其他人目ニ觸レ易キ場所ニ學林名稱所屬學校市町村名等ヲ記載シタル標木ヲ建ツヘシ
- 第十條 學林ニ關スル費用ハ其所有區域内ノ負擔トス
- 第十一條 學校樹栽地ハ主トシテ生徒ノ愛林志想ヲ啓發シ傍ラ在學ノ紀念トシテ植樹セシムル爲メニ其學校ニ於テ之ヲ設置スルモノトス
- 第十二條 樹栽地ハ校地ノ一部若クハ其近傍又ハ學林ノ一部ヲ充用スル等適宜タル

ヘキモ成ルヘク其學校若クハ所屬町村部落ノ風致ヲ造成スヘキ場所ヲ撰擇スヘシ
第十三條 植栽地ニ植栽スヘキ樹木ハ其種類ノ多キヲ可トスルモ成ルヘク浮華珍奇
ニ屬スルモノヨリハ松櫻杉檜樟樅ノ如キ樹齡ノ長久ニシテ効用ノ廣大ナルモノヲ
撰擇スヘシ

第十四條 學校ニ於テハ樹栽日ヲ定メ豫メ兒童保護者等へ通知スヘシ

第十五條 學校ニ於テハ樹栽ノ當日先ツ生徒ヲ學校ニ招集シ學校長教員等ハ樹木ノ
効用、其培養法、山林ト國土ノ關係其他山林保護ノ公益タル所以等ヲ講話シタル後
生徒ヲ引率シテ樹栽地ニ至リ苗樹ヲ植栽セシムヘシ但シ市町村長市町村會議員學
務委員及ヒ兒童保護者等ハ成ルヘク之レニ立會フヲ要ス

第十六條 樹栽地ノ苗樹ハ生徒等ノ持チ來ルモノヲ用ヒ又ハ他ヨリ購入スル等適宜
タルヘキモ成ルヘク校地内又ハ其近傍ニ苗圃ヲ設ケ學校長教員生徒ヲ指揮シテ之
ヲ培養セシムヘシ

第十七條 學校長教員ハ樹栽地保護ノ任ニ當リ時々生徒ヲ引率シテ之レヲ巡視シ除
草害蟲驅除等ノ作業ヲナスヘシ

第十八條 學校ニ樹栽臺帳ヲ備ヘ左ノ事項其他ノ要件ヲ記載シ樹栽地圖ヲ作り樹栽
者氏名及ヒ樹木ノ種類位置等ヲ永遠ニ傳フヘシ

- 一 樹栽者ノ住所氏名年齡
- 一 樹林臺帳ノ第一乃至第七ノ事項

一 枯損其他ノ事故

第十九條 樹栽地ヨリ生スル收入ハ其學校基本財産ニ充テ若クハ教育ニ關スル費用
ニ充ツルモノトス

●島根縣訓令第三十五號 (明治三十二年三月二十日)

市町村立高等小學校同^{高等}小學校及ヒ補習科設置規定

島 縣 郡役所 市役所
局長役場 町村役場

市町村立高等小學校同^{高等}小學校及ヒ補習科設置規定左ノ通改正ス

第一條 市町村立高等小學校若クハ同^{高等}小學校ハ左ノ各款ヲ具備シタル地方ニア
ラサレハ之ヲ設置スルコトヲ得サルモノトス但町村學校組合ニ於テハ第三款ニ該
當セサル町村アルモ之ヲ設置スルコトヲ得

一 尋常小學校ノ設備宜シキヲ得タルモノ

二 學級相當ノ教員ヲ配置シタルモノ

三 學齡兒童ノ就學比例ハ前年度末統計百分ノ八十以上及ヒ在籍生ノ出席比例ハ
三ヶ月平均百分ノ八十以上ナルモノ

第二條 市町村立高等小學校ノ設置ハ左ノ第一款第二款同^{高等}小學校ノ設置ハ左ノ

第一款第三款ニ相當スルヲ要ス

- 一 高等小學校(一學級ノモトト假定ス)ノ經常費毎年凡金參百五拾圓以上ヲ支出シ且必要ノ臨時費支出ニ妨ナキ資力アル場合
- 第三條 首席訓導ノ俸給ハ市町村立高等小學校若クハ同高等小學校ハ七等下級俸以上タルヘキモノトス
- 第四條 高等小學校若クハ高等小學校ノ修業年限ヲ四箇年ニ定メント欲スルトキハ就學兒童ノ數年學級以上ヲ編成スルニ足ルヘキトキニ限ル
- 第五條 市町村立高等小學校高等小學校ノ經常費ハ一學級ヲ増ス毎ニ一箇年凡金百五拾圓以上ヲ増加スヘキモノトス
- 第六條 補習科ヲ置キ正教科ノ學級ニ合セ教授セント欲スルトキハ尋常小學校ニ於テハ四箇學年以内高等小學校若クハ高等小學校ニ於テハ同三箇學年以内ノ生徒ヲ以テ學級ヲ編制スルコトヲ得ヘキ場合ニ限ル

●島根縣訓令第四十六號 (明治三十二年三月二十八日)

學林、學校樹栽地設置ノ場合開申ノ件

島 縣 郡役所 市役所
 戶長役場 町村役場 市町村立小學校
 學林ヲ設置セシトキハ左ノ甲項ヲ學校樹栽地ヲ設置セシトキハ左記乙項ヲ具シ市長
 戶長町村長ヨリ知事ニ開申スヘシ
 甲 項

- 一 學林設置年月日
- 二 地目及ヒ反別
- 三 郡市町村字名等
- 四 所有地、借地等ノ區別借地ハ借用期限等
- 五 植樹年月日
- 六 植樹ノ種類、員數、段別、費用ノ概額等

乙 項

- 一 樹栽地設置年月日
- 二 地目及ヒ段別
- 三 市町村字名等
- 四 所有地、借地等ノ區別借地ハ借用期限等
- 五 樹栽セシ生徒ノ學年別員數

●島根縣訓令第九十五號 (明治三十二年七月六日)

改正條約實施ニ關シ生徒教養上注意ノ件

學校ハ特ニ其ノ風紀ヲ正シ規律ヲ嚴ニセサルヘカラサルコト言テ俟タス今ヤ改正條約實施ノ期目睫ノ間ニ切迫シ茲ニ新ニ
 詔勅ヲ下シタマフ蓋今後外國人ノ内地ニ來往居住スル者愈頻繁ナラム此ノ時ニ際シ

若シ生徒ヲシテ放漫自ラ制セス或ハ禮節ヲ藐視シ或ハ粗野ノ行爲ヲ敢テシ奇矯自ラ喜フ如キ陋習ヲ長セシムルコトアラハ獨リ教育上ノ失體タルノミナラス延イテ國家ノ威信ヲ失墜シ其ノ體面ヲ汚瀆スルコトナキヲ保セス宜シク恭ミテ
 教旨ヲ奉體シ今後生徒教養上尙一層戒慎ヲ加ヘ其ノ方途ヲ誤ルコトナキヲ期スヘシ

●島根縣訓令第百一號 (明治三十二年七月二十日)

教員講習會其他學事ニ關スル會合ヲナサントスルトキ申報ノ件

島 縣 郡役所 市役所

島郡市ニ於テ教員講習會教員職務研究會其他學事ニ關スル會合ヲナサントスルトキハ左項ヲ具シ開會一週日前ニ當廳ニ申報スヘシ

- 一 會名及ヒ開催ノ趣旨
- 一 會合區域
- 一 會場
- 一 開會及ヒ閉會期日
- 一 學科目(講習會ニ限ル以下同シ)
- 一 講師姓名
- 一 講習員人員

●島根縣訓令第百九號 (明治三十二年八月二十五日)

宗教上ノ儀式ヲ行フヲ許サ、ル件

一般ノ教育ヲシテ宗教ノ外ニ特立セシムルハ學政上最必要トス依テ公立學校及ヒ學科課程ニ關シ法令ノ規定アル學校ニ於テハ課程外タリトモ宗教上ノ教育ヲ施シ又ハ宗教上ノ儀式ヲ行フコトヲ許サ、ルヘシ

●島根縣訓令第二號 (明治三十三年一月八日)

市町村立小學校設置手續

郡役所 市役所 町村役場

明治二十五年肥本縣訓令第十九號市町村立小學校設置ニ關スル細則及ヒ同年肥本縣訓令第五十一號小學校令施行ニ關スル手續ヲ廢止シ更ニ市町村立小學校設置手續ヲ左ノ設置通定ム

- 第一條 尋常小學校校數並位置ノ許可若クハ指揮ヲ請フ場合ニハ左ノ各號ヲ具シ且設置區域圖設置區域内ノ全圖ニシテ各大字ノ區域學校位置及校地圖 敷地、禮堂、實業實修場等ヲ區別シ方位、町村、字、地番、地目、段別並隣地ノ模樣ヲ詳記シタルヲ副フヘシ
- 一 戶數設置區域ト通學區域ト異ナモノ但實地ノ百分ノ一トスル場合ニ於テハ各別ノ數
- 二 地價第一號ニ同シ
- 三 學齡兒童ノ數第一號ニ同シ
- 第二條 高等小學校ノ設置若クハ尋常小學校ニ高等小學校科併置ノ許可ヲ請フ場合ニ

- ハ左ノ各號ヲ具シ且校地圖第一條ヲ副フヘシ
- 一 學校設置區域内戸數數町村ナレハ各町村ノ數
- 二 同地價第一號
- 三 同學齡兒童ノ數第一號但前年末統計ニ依ル
- 四 同就學兒童ノ數第三號同シ又既卒業者ト
- 五 同在籍生徒ノ數第一號同シ但前月以前三ヶ月間各月ノ數
- 六 同在籍生徒ノ出席比例第五號
- 七 入學スヘキ生徒ノ概數
- 八 教員ノ數本專科正准教員
- 九 校舍ノ圖面各室坪數出入口窓戸ノ位置等詳記スヘシ但平面圖ニ百分ノ一
- 十 一ケ年度經費收入支出豫算内譯ヲ詳記スヘシ
- 第三條 町村學校組合ヲ設クルノ許可若クハ指揮ヲ請フ場合ニハ左ノ各號ヲ具シ且組合内全圖各町村ノ區域學校位置及通學路程並其道路ノ難易ヲ詳記シタルモノヲ副フヘシ
- 一 戸數各町村別
- 二 地價第一號
- 三 學齡兒童ノ數第一號

- 第四條 兒童教育事務委託ノ許可ヲ請フ場合ニハ左ノ各號ヲ具シ且地圖委託區域及委託ノ通學區域並委託區域ニ隣接セル學校ノ位置ヲ記シタルモノニシテ通學路程及其ノ道路ノ難易ヲ詳記シタルモノ
- 一 戸數委託區域内ノ數
- 二 地價第一號
- 三 學齡兒童ノ數委託區域内ノ數及委託ヲ受ケル學校ノ通學區域内ノ數
- 四 就學兒童ノ數委託ヲ受ケル學校ニ係ルモノ
- 五 教員ノ數第四號同シ但本專科正准教員ヲ區別スヘシ
- 六 校舍ノ圖面第二條
- 第五條 尋常小學校ノ設置若クハ兒童教育事務委託ニ關スル義務ヲ免レシムル許可ヲ請フ場合ニハ左ノ各號ヲ具シ且地圖義務ヲ免レシムル區域及其住民ノ位置、隣接セル學校ノ位置、同里程並其道路ノ難易ヲ詳記シタルモノヲ副フヘシ
- 一 戸數義務ヲ免レシムル區域内ノ數
- 二 地價第一號
- 三 學齡兒童ノ數第一號
- 第六條 尋常小學校ノ設置若クハ兒童教育事務ノ委託ニ關スル義務ヲ免レシメタル

町村若クハ町村學校組合ニ於テ更ニ尋常小學校ノ設置ヲ許可セシトキハ左ノ各號ヲ具シ且校地圖第一條ヲ副ヘテ申報スヘシ

一 校數並位置

二 學校名稱

第七條

尋常小學校ノ設置若クハ其ノ一部ノ設備又ハ兒童教育事務ノ委託ヲ猶豫シ私立小學校ヲ以テ之ニ代用セシメタルトキハ左ノ各號ヲ具シ且地圖代用セシメタル區位置、通學路經其道路ノ及校地圖第一條ヲ副ヘテ申報スヘシ

一 學校ノ位置及名稱

二 校舎ノ圖面第二條

第八條

市町村長若クハ町村學校組合長ハ學校開設以來學務委員ヲ選舉セシメ及ヒ任命シ並學務委員報酬ノ給否及ヒ金額ヲ議決セシムヘシ

市町村長若クハ町村學校組合長ハ學務委員ニシテ教員ヨリ加ハル者ハ其ノ氏名其ノ他ハ族籍氏名職業年齢ヲ具シ市長ハ知事ニ町村長若クハ町村學校組合長ハ郡長ニ申報スヘシ

第九條

小學校ハ學級編制ニ關スル許可ヲ受ケ及ヒ教員ノ任用アリタル後ニアサラサレハ之ヲ開始スルコトヲ得ス

第十條 小學校々數位置等ノ變更ニ由リ廢止ニ屬シタル小學校ハ其ノ就學兒童ノ出席スヘキ他ノ小學校ノ設備整フニ至ル迄ハ之ヲ閉校スルヲ得ス

第十一條 小學校ヲ開始若クハ閉校セシトキハ其期日並學校名ヲ申報スヘシ廢滅セシ學校アリタルトキ亦同シ

●島根縣訓令第四十二號

(明治三十三年四月十七日)

學校生徒喫煙取締ノ件

島 縣 郡役所 縣立學校
市役所 戶長役場 町村役場
市町村立私立各學校

明治二十七年朕文部省訓令第六號ノ趣旨ニ依リ生徒ノ體育衛生ニ留意シ發育ヲ保全スヘキ旨同年朕訓令第六十八號ヲ以テ訓令シタル處學校生徒ノ喫煙ハ衛生上有害ナルノミナラス風紀ニ關スルコト少ナカラス殊ニ未成年者喫煙禁止法ノ發布アリタルニ就キテハ小學校中學校師範學校及ヒ等位ノ之ニ準スヘキ學校ニ在リテハ取締上其ノ生徒ノ成年以上ナルト以下ナルト學校ノ内外トヲ問ハス喫煙シ及ヒ煙草煙器ヲ夾帶スルコトヲ禁止スヘク其ノ他ノ學校ニ在リテモ特ニ注意ヲ加ヘ法律違反ノ者ナカラシメンコトヲ期スヘキ旨今般文部省訓令第五號ヲ以テ訓令セラレタルニ付テハ該趣旨ヲ體シ嚴重ニ取締ヲ爲スヘシ

●島根縣訓令第六十二號

(明治三十三年六月十八日)

學校生徒トラホームニ付キ注意

島 廳 郡役所 縣立學校
市役所 戶長役場 町村役場
市町村立小學校

トラホームハ極メテ頑固ナル傳染性眼疾ニシテ近年各地追々蔓延ノ兆候アリ殊ニ學校生徒身體検査ノ爲メ該病ヲ發見スルモノ多ク此ノ儘進行スルトキハ少年子女ノ前途容易ナラサル不幸ヲ蒙ルノミナラス延テ學校教育上ノ障害トナルモノ少シトセス抑々該病ノ症候タル其ノ初期ニ在リテハ殆ント苦惱ヲ感セサルモ後日ニ至リ重症ニ陥リ遂ニ治癒スヘカラサルニ至ルモノ往々之アルヲ以テ其ノ豫防ノ方法ヲ盡スハ目下ニ於ケル焦眉ノ急務トス然レトモ豫防ノ事タル區々一小部分ニ於ケル施行ハ其ノ効充分ナルモノニアラサレハ學校ニ於テハ宜ク家庭ト相待チテ互ニ周到ナル注意ヲ加ヘサルヘカラス依テ時々學校醫又ハ其ノ他ノ醫師ヲシテ生徒ノ身體ヲ検査セシメ該疾患ニ罹ルモノアルトキハ本人及ヒ其ノ家族ヲ誠告シ治療ヲ怠ラシメス又明治三十一年肌文部省令第二十號學校傳染病豫防及ヒ消毒法並ニ同三十年此本縣訓令第九號學校清潔方法等ノ施行ヲ嚴ニシ一般ノ衛生ト共ニ其注意ノ周到ヲ圖ルヘシ眼疾ニ關シテハ特ニ心得ヘキ要項ヲ指示ス尙ホ此ノ他ハ醫師ノ意見ニ依ルヘシ

一 トラホームノ初期ハ頗ル斷定シ難キモノ尠カラサルモ眼瞼ノ裏面ニ顆粒ヲ見ルハ一般ノ徵候ナリトス

一 トラホームハ特發スルコトナク觸接ニヨリテ傳染スルモノナレハ患者ノ分泌物

明治三十三年一月
島根縣訓令第四號
三條第四條追加

- (眼脂)ニ觸レタル手拭、洗面器、寢具、書籍、文具、帽子、傘等ノ器具ニ依リ傳染スルモノナリ又不潔、烈日、暑熱、塵埃、汚濁セル空氣ハ本病ノ傳染ニ便宜ヲ與フルノ恐アルモノトス
- 一 自家ニトラホーム患者發生スルカ又ハ自身之ニ罹リタルトキハ自他トモ能ク注意シ必ス患者ト觸接セシメサル様セシムルヲ要ス
- 一 眼ニ異狀ヲ認メタルトキハ直チニ醫師ノ診察ヲ乞ハシムルヲ要ス
- 一 夏期不潔ナル河溝ノ水又ハ浴湯、理髮床ノ手拭、洗面器、海綿等ハ往々病毒傳染ノ媒介ヲナスコトアリ之ヲ防クノ注意ヲナサシムルヲ要ス
- 一 トラホーム患者使用ノ器具ハ熱湯ニテ洗濯シ健者ノ物ト混同セシメサルヲ要ス
- 一 寄宿舎ヲ設ケタル學校ニ於テハ前各項ノ外特ニ構内ノ掃除通風等公衆衛生ニ注意セシムルヲ要ス

島根縣訓令第七十七號 (明治三十三年九月四日)

市町村立小學校教員加俸給與手續

島 廳 郡役所 市役所
戶長役場 町村役場 市町村立小學校

市町村立小學校教員加俸給與手續左ノ通定ム

第一條、市町村立小學校教員ノ加俸ハ市立小學校教員ニハ縣廳町村立小學校教員ニハ島廳又ハ郡役所ニ於テ支給ス

第二條 島廳那役所ニ於テハ受加俸者名簿ヲ備ヘ氏名學校名加俸額等ヲ記載シ異動ハ其ノ時々之ヲ登錄スヘシ

第三條 島廳那役所ニ於テ支給シタル加俸額ハ翌月五日迄ニ其ノ所屬戸長役場又ハ町村役場ニ通知スヘシ但シ轉任者ノ加俸ニ就テハ年額十二分ノ一ヲ其ノ月額トシ日割計算ヲ以テ支給應ヨリ前後所屬ノ市役所又ハ戸長役場町村役場ニ通知スヘシ

第四條 縣廳ニ於テ支給シタル加俸額ハ内務部長ヨリ通知セシム

●島根縣訓令第八十一號 (明治三十三年九月二十一日)

小學校正准教員傷痕疾病ノ爲メ退職願出ノ際醫師診斷書添付様式

市町村立小學校正准教員ニシテ傷痕ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ其ノ職ニ堪ヘサルニ因リ退職ヲ出願セントスルトキハ自今左ノ様式ニ據ルル醫師診斷書ヲ添付スヘシ

診斷書

何學校訓導准訓導

姓

生年月

一病名

何々

一既往症

遺傳病ノ關係、既往病歴、發病ノ原因

一現症

全身ノ構造營養ノ狀態、體温及ヒ脈搏ノ性

胸部視診觸診

呼吸運動、胸廓縮張ノ狀況

肺臟心臟打診聽診ノ狀況

腹部諸臟器視診觸診ノ狀況

腦脊髓症患ノ有無

其他尿検査ノ成績等

一經過 何々

一豫後 何々

右ノ通り及診斷候也

住 所

醫 士

何

某 印

年 月 日

●島根縣訓令第八十九號

(明治三十三年十一月十日)

市町村立學校長及ヒ教員公務旅行ノ件

天井

床面

- 一 階段構造(幅蹴上ケ踏面ノ寸法)
- 一 井及便所ノ位置構造個數
- 一 各建物ノ構造仕様要領書
- 一 建築増築著手及ヒ竣工期日
- 一 建築費額
- 一 學齡兒童及ヒ每學級生徒數

●島根縣訓令第二十三號 (明治三十四年三月十三日)

學事年報取調條項及ヒ諸表様式

島 縣 郡役所 縣立學校
市役所 戶長役場 町村役場

(明治三十四年二月十二日文部省訓令第一號ニ同シ)

●島根縣訓令第二十五號 (明治三十四年三月十五日)

小學校教育ニ關スル賞與規程

島 縣 郡役所 市役所
戶長役場 町村役場 市町村立小學校

小學校教育ニ關スル賞與規程左ノ通定ム

第一條 市町村立小學校教員又ハ市町村吏員ニシテ初等教育上功績顯著ナル者ニハ賞狀又ハ金品ヲ授與スルコトアルヘシ

第二條 市町村立小學校教員ニシテ初等教育上功績顯著ナリト認め得ヘキモノハ凡ソ左ノ例ニ依ル

- 一 教授上訓練上他ノ模範トナルヘキ者
- 二 學齡兒童ノ就學及在籍生徒ノ出席督勵其ノ宜ヲ得タル者
- 三 勤務年數十年以上ニシテ精勵衆ニ擢テタル者
- 四 職務上有益ナル教授用具ヲ工夫シタル者

第三條 市町村吏員ニシテ初等教育上功績顯著ナリト認め得ヘキモノハ凡ソ左ノ例ニ依ル

- 一 學齡兒童ノ就學及在籍兒童ノ出席督勵其ノ宜ヲ得タル者
- 二 小學校ノ設備小學校ノ基本財産蓄積等ノ施設經營ニ盡力シタル者
- 三 其ノ他初等教育上有益ナル事業ニ盡力シタル者

第四條 島司郡市長ハ本令ニ該當セル者アリト認ムルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ毎年五月末日限リ知事ニ内申スヘシ

●島根縣訓令第四十一號 (明治三十四年四月一日)

市町村納金收入手續

知事官房 内務部 島 廳
郡役所 市役所 戸長役場
町村役場

明治二十三年法律第九十號市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料法第十四條第

二項ノ市町村納金收入手續左ノ通り定メ明治三十四年度所屬ヨリ施行ス

但シ明治三十二年版本縣訓令第七十一號ハ明治三十三年度所屬限リ廢止ス

第一條 正教員缺勤等ノ事故ニヨリ俸給ヲ減給シタルトキハ直チニ其金額氏名事由

ヲ具シ市長ハ知事ニ戸長、町村長ハ所轄ノ島司郡長ニ報告スヘシ

第二條 島廳、郡役所ニ於テハ正教員俸給簿ヲ設備シ氏名、學校名、俸給及ヒ加俸額

並前條減給等ヲ記載シ異動アルトキハ其時々之ニ登錄スヘシ

第三條 (明治三十五年訓令第九十六號削除)

第四條 縣廳、島廳、郡役所ニ於テハ四月、八月、十二月ニ於テ前四ヶ月分ノ俸給及加

俸支給額^{加俸ハヲ其ノ所屬市町村別ニ調査シ市町村納金額ヲ決定スヘシ但シ轉任}

者ノ加俸ニ就テハ年額十二分ノ一ヲ其ノ月ノ月額トシ日割計算ヲ以テ其ノ所屬市

町村ニ分割スヘシ (明治三十六年訓令第二十八號追加)

第五條 知事、島司、郡長ハ四月、八月、十二月ニ於テ其ノ月七日迄ニ市長、戸長、町村

長ニ對シ納入告知書ヲ發スヘシ

第六條 市町村ヨリ納付スヘキ期限ハ四月、八月、十二月毎十五日限リトス

●島根縣訓令第四十七號 (明治三十四年四月二十二日)

小學校生徒服裝ノ件

島 廳 郡役所 師範學校
市役所 戸長役場 町村役場
市町村立小學校

小學校生徒ノ服裝ハ質素ヲ旨トシ成ルヘク絹服ヲ避ケ綿服ヲ着用セシムヘシ

●島根縣訓令第五十六號 (明治三十四年七月二日)

休職小學校教員ニシテ議員又ハ公務員タラントスルトキ許可ヲ受クヘキ
件

島 廳 郡役所 市役所
戸長役場 町村役場 市町村立小學校

休職小學校教員ニシテ縣那市町村會議員又ハ市町村長助役市參事會員タラントスル
トキハ知事ノ許可ヲ受クヘシ

●島根縣訓令第六十二號 (明治三十五年七月二十四日)

學校職員議員選舉競争ニ關係スヘカラサル事

島 廳 郡役所 縣立學校
市役所 戸長役場 町村役場
郡市町村立私立小學校

學校職員ハ政争ノ外ニ特立スヘキ者タルニ因リ議員選舉ノ事アルニ當リテモ現職ニ在ル者ハ其ノ身固有ノ選舉權ヲ行フノ外直接ニ間接ニ選舉ノ競争ニ關係スヘカラス

●島根縣訓令第九十七號 (明治三十五年十一月十五日)

公立學校職員、准教員傷疾疾病退職ノ際診斷書添付ノ件

島 廳 郡役所 縣立學校
市役所 戶長役場 町村役場
郡市町村立小學校

奏任文官若クハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル郡市町村立學校職員及ヒ市町村立小學校實業補習學校准教員ニシテ傷疾ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ其ノ職務ヲ行フニ妨アル者若クハ其ノ職務ニ堪ヘサル者ニ對シ島司郡市長ニ於テ休職若クハ退職ヲ申請セントスルトキ又ハ奏任文官若クハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル公立學校職員及ヒ市町村立小學校實業補習學校准教員ニ於テ傷疾ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ其ノ職務ニ堪ヘサルニ因リ退職ヲ出願セントスルトキハ左記様式ニ據レル醫師診斷書ヲ添付スヘシ

明治三十三年肱本縣訓令第八十一號ヲ廢止ス

診 斷 書

職 名

姓 生 年 月 名

一 病 名

何 々

一 既往症

遺傳病ノ關係、既往病歴、發病ノ原因

一 現 症

全身ノ構造營養ノ狀態、體温及ヒ脈搏ノ性、胸部視診觸診

呼吸運動、胸廓縮張ノ狀況

肺臟心臟打診聽診ノ狀況

腹部諸臟器視診觸診ノ狀況

腦脊髓疾患ノ有無、耳目疾患ノ有無其他尿検査ノ成績等

一 經 過

何 々

一 豫 後

何 々

右ノ通り及診斷候也

住 所

醫 師 何

某 印

年 月 日

●島根縣訓令第三十七號 (明治三十六年四月十六日)
學齡簿檢閲ニ關スル件

島 廳 郡役所

明治三十三年文部省令第十四號小學校令施行規則第八十條ニ依リ編製シタル學齡簿ハ毎年度ノ初ニ於テ島司郡長之ヲ檢閲スヘシ
檢閲了シタル學齡簿ニハ檢閲シタル官吏其ノ年月日及ヒ官氏名ヲ每冊適宜ノ箇所ニ記入シ捺印スヘシ
島司郡長ハ部内學齡簿ノ檢閲了シタルトキハ遲滯ナク知事ニ報告スヘシ

●島根縣訓令第八十一號 (明治三十六年十二月二十六日)

學齡兒童保護者兒童ヲ就學又ハ出席セシメサル場合ニ於ケル注意事項

島 廳 郡役所

學齡兒童保護者其ノ兒童ヲ就學又ハ出席セシメサル場合ニ於テ之ニ對スル行政執行法及ヒ其ノ施行令適用ニ關シテハ大體左ノ趣旨ニ依リ機宜ニ適スル様注意スヘシ
一 施行令第五條及ヒ第六條ノ戒告書若クハ過料ノ決定書ヲ義務者ニ交付スルトキハ送達書ヲ以テスヘシ義務者ニ於テ戒告書又ハ決定書ノ交付ヲ受クルヲ拒ムトキハ送達者其ノ事實ヲ送達書ニ記載シ署名捺印スルニ因テ送達了リタルモノト見做スヘシ
戒告書決定書及ヒ送達書ノ様式ハ附錄第一號乃至第三號ノ例ニ據ルヘシ

二 行政執行法第六條ノ過料ヲ徵收スルカ爲メ國稅徵收法ノ規定ニ依リ滯納處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ收稅官吏ノ執ルヘキ職務ハ行政處分ヲ爲シタル島司、郡長ニ屬スルモノトス
附錄第一號

戒告書 (原本)

住所

何某(學齡兒童氏名)保護者 何 某

頭書學齡兒童何某ヲ本戒告書送達後何日以内ニ何尋常小學校ニ就學(出席)セシムヘシ若シ此指定期間ニ就學(出席)セシメサルトキハ過料ニ處スヘシ
右行政執行法第五條及ヒ行政執行法施行令第五條ニ依リ戒告ス

明治 年 月 日

官 氏 名 印

右正本ハ原本ニ依リ之ヲ作成ス(正本ニハ以下ヲ加フ)

明治 年 月 日

官 氏 名 印

附錄第二號

決定書 (原本)

住所

何某(學齡兒童氏名)保護者 何 某

一金也

頭記學齡兒童何某就學(出席)ニ關シ明治 年 月 日第 何 號戒告書ヲ

送達シタルニ指定期間ニ就學(出席)セシメサリシヲ以テ前記金額ノ過料ニ處ス因テ

明治 年 月 日限リ其ノ金額ヲ當廳ニ納付スヘシ

右行政執行法第五條及ヒ行政執行法施行令ニ依リ決定ス

明治 年 月 日 官 氏 名 印

右正本ハ原本ニ依リ之ヲ作成ス(正本ニハ以下ヲ加フ)

明治 年 月 日 官 氏 名 印

附錄第三號

甲 號

送達書

送達ノ文書	何々ニ關シ何某ニ對スル明治 年 月 日 號戒告(決定)書
送達ノ日時	明治 年 月 日 午前 時 分
送達ノ場所	何府(縣)何郡(市)何町(村)大字何 何番地

乙 號

送達書

受送達者氏名印	何 某 印
送達者氏名印	何 某 印
備考	
明治 年 月 日	官 廳 名

送達ノ文書	何々ニ關シ何某ニ對スル明治 年 月 日 號戒告(決定)書
送達ノ日時	明治 年 月 日 午前 時 分
送達ノ場所	何府(縣)何郡(市)何町(村)大字何 何番地
送達者氏名印	何 某 印
備考	
明治 年 月 日	官 廳 名

備考

- 一 送達書ハ書類送達ノ際切斷シテ乙號ハ之ヲ受送達者ニ交付シ甲號ハ官廳ニ保存スヘシ
- 一 乙號ハ送達者之ニ署名捺印シ甲號ニハ送達者受送達者共ニ署名捺印スルヲ要ス
- 一 備考ノ欄ニハ送達ノ件ヒ生シタル事項ノ要領ヲ摘記スヘシ
- 一 受送達者ニ於テ書類ノ交付ヲ拒ミタルトキハ送達者ハ甲號備考欄ニ其ノ事實ヲ記入シ送達者氏名欄ニ署名捺印スヘシ
- 一 受送達者氏名ハ本人ヲシテ記入セシムヘキモ若シ自署シ能ハサルトキハ送達者代テ之ヲ記入シ受送達者ニ讀聞カセ捺印セシメ其ノ旨備考欄ニ記入スヘシ
- 一 書類ニハ總テ圖印ヲ押捺スルヲ要ス

●島根縣訓令第十號 (明治三十七年二月二十五日)

戰時ニ於ケル授業料減免其他ニ關スル件

島 縣 郡役所 市役所
 戶長役場 町村役場 郡市町村立各學校

戰地ニ於ケル勤務ニ起因シテ死去シタル者ノ遺族ニ對シ市町村立小學校ニ於テ授業料ヲ減免スヘキコトハ既ニ明治二十九年勅令第五號ニ其ノ規定アリ今回ノ事變ニ際シ此趣旨ヲ擴充シテ出征又ハ應召ノ軍人ノ子女ニ對シ小學校ハ勿論其ノ他ノ學校ニ於テモ事情ノ許ス限リハ其ノ授業料ヲ減免シ又ハ學用品ヲ給與スル等ノ法ヲ設ケ以テ軍人ヲシテ後顧ノ患ナカラシムヘシ

軍費供給ノ必要ハ教育費ニモ影響ヲ及ホシ新事業又ハ設備等ニ關シ一時ノ緊縮ヲ來スハ已ムヲ得サル所トス然レトモ之レカ爲メニ教員ノ俸給ヲ削減シ又ハ兒童ノ就學

數ヲ減少シ其ノ他教育ノ効果ヲ減退セシムルカ如キハ國力發展ノ基礎ヲ傷損スルモノナレハ務テ之ヲ避ケサル可ラス而シテ經濟上節約ヲ圖ランカ爲メニハ小學校ニ於テハ二部教授ノ法ヲ採リ其ノ他ノ學校ニ於テモ亦臨機適宜ノ法ヲ講スル等適當ノ措置ヲ爲スヘシ

●島根縣訓令第六十一號 (明治三十七年八月十六日)

紫色鉛筆使用禁止並使用上注意ノ件

島 縣 郡役所 縣立學校
 市役所 町村役場 郡市町村立學校
 私立學校

學校生徒ノ使用スル「コピールビオレット」「リラビオレット」「ヨハン、コピール」「ハ、ツエ、クルツ、コピール」等ノ記號アル紫色鉛筆ハ其ノ製造ノ原料ニ有害ノ色素ヲ包含スルカ故ニ其ノ破片又ハ溶液ノ眼中ニ入ルトキハ激烈ナル毒作用ヲ呈シ竟ニ不治ノ眼疾ニ陥ルコトアリ仍テ幼稚園及ヒ小學校ノ兒童ニハ之レカ使用ヲ禁止シ其ノ他ノ學校ノ生徒ニ在リテハ必要缺クヘカラサル場合ニ限り之ヲ使用セシムルコトヲ得ルト雖其ノ使用上ニ周密ノ注意ヲ爲サシムヘシ

●島根縣訓令第六十二號 (明治三十七年八月十九日)

學裁樹栽培督勵ノ件

島 廳 郡役所 市役所

學校樹栽ノコトタル教育上幾多ノ裨益アルノミナラス學校基本財産造成ノ一法タリ故ニ本縣ハ從來之ヲ獎勵シ地方當局者亦之レニ熱心ナル者アリシヲ以テ近來之レカ實施ヲナスモノ漸ク多キヲ加フルノ傾向アリ又時局ニ際シ或ル郡ニ於テ紀念學林ヲ設クルノ計畫ヲ立テタルカ如キ甚タ喜フヘキモノアリ然リト雖モ願ミテ統計ニ徵スルニ現ニ此等ノ實施ヲナセル市町村立小學校ハ尙少數ニシテ其ノ發達ノ遅々タルハ遺憾トスル所ナリ島司郡市長ハ宜シク管内學校ノ狀況ヲ調査シ既ニ樹栽ニ着手セルモノハ益々之レヲ獎勵シ其ノ未タ着手セサルモノニハ學林並樹栽地ノ廣狹ニ拘ハラヌ樹數ノ多少ヲ問ハス實施ヲ督勵シ以テ其ノ效果ヲ收メンコトヲ努ムヘシ

●島根縣訓令第四十三號 (明治三十八年七月三十一日)

服裝標準

島 廳 郡役所 縣立學校 (島根縣師範學校ヲ除ク)
市役所 郡市立學校 町村立學校

公立學校長及ヒ教員ノ執務上 (儀式ノ場合ヲ除ク) 着用スヘキ服裝ハ明治三十八年十月一日ヨリ左ノ標準ニ據ルヘシ

- 一 男子ハ洋服着用スヘシ但當分ノ内筒袖ノ和服ニ袴ヲ着用スルコトヲ得
- 二 女子ハ筒袖ノ和服ニ袴ヲ着用スヘシ但シ洋服ヲ着用スルモ妨ナシ
- 三 服裝ハ整正ニシテ清潔ナルヲ要ス

●島根縣告示之部

●島根縣告示第三百三十一號 (明治三十六年六月四日)

尋常小學校准教員檢定受験參考書

尋常小學校准教員檢定受験參考書ハ左ノ通トス
明治二十九年陸本縣告示第二百一號ヲ廢止ス

尋常小學校准教員檢定受験參考書

學科目	書 名	卷 冊	著譯編述者氏名	出 版 者 氏 名
修 身	勸 語 衍 義	一	那珂通世	白井練一
修 身	高等小學修身書	四	伯爵東久世通禰	西澤之助
修 身	小女子修身訓 高等科	四	學海指針社	小林清一 耶
教 育	教 育 講 義	一	御園生金太郎	金 港 堂
教 育	新教育學綱要	一	鈴木光愛	翰 香 堂
國 語	新國語讀本 高等小學校兒童用	八	武山左文次 小島又次郎	山田禎三 耶
國 語	修 正 日 本 文 法 教 科 書 上	一	大槻文彦	開 成 館

體操	唱歌		圖畫		理科		歷史、地理		算術			
	新撰國民唱歌	小學唱歌	幼稚園唱歌集	小學唱歌集	小學習畫帖	小學毛筆畫	近世博物教科書	中學理化示教	本邦史綱	新撰地理	算術小教科書	
實通遊戯法	訂正增補普通體操法	五	六	一	三	乙種八	乙種八	一	一	一	二	八
高橋忠次郎	坪井玄道	小山作之助	伊澤修二	文部省	文部省	橋本雅邦	藤井健次郎	池田菊苗	峰岸米造	山上萬次郎	藤澤利喜太郎	玉木本三郎
榑原友吉	大日本圖書株式會社	東京開成館	大日本圖書株式會社	音樂取調掛	音樂取調掛	小林義則	三木佐助	金港堂	六盟館	富山房	大日本圖書株式會社	山田禎三郎

明治三十八年十一月六日印刷
 明治三十八年十一月十日發行

定價金六拾五錢

編輯者 川上 新之助
 島根縣松江市奥谷八番地

發行兼 鶴見 儀市
 印刷人 島根縣松江市松江分五百三十七番地

印刷所 殿町印刷所
 島根縣松江市殿町三百八十三番地

和合堂 總編 田田田

和合堂 總編 田田田

會館人 錢 田 田

和合堂 總編 田田田

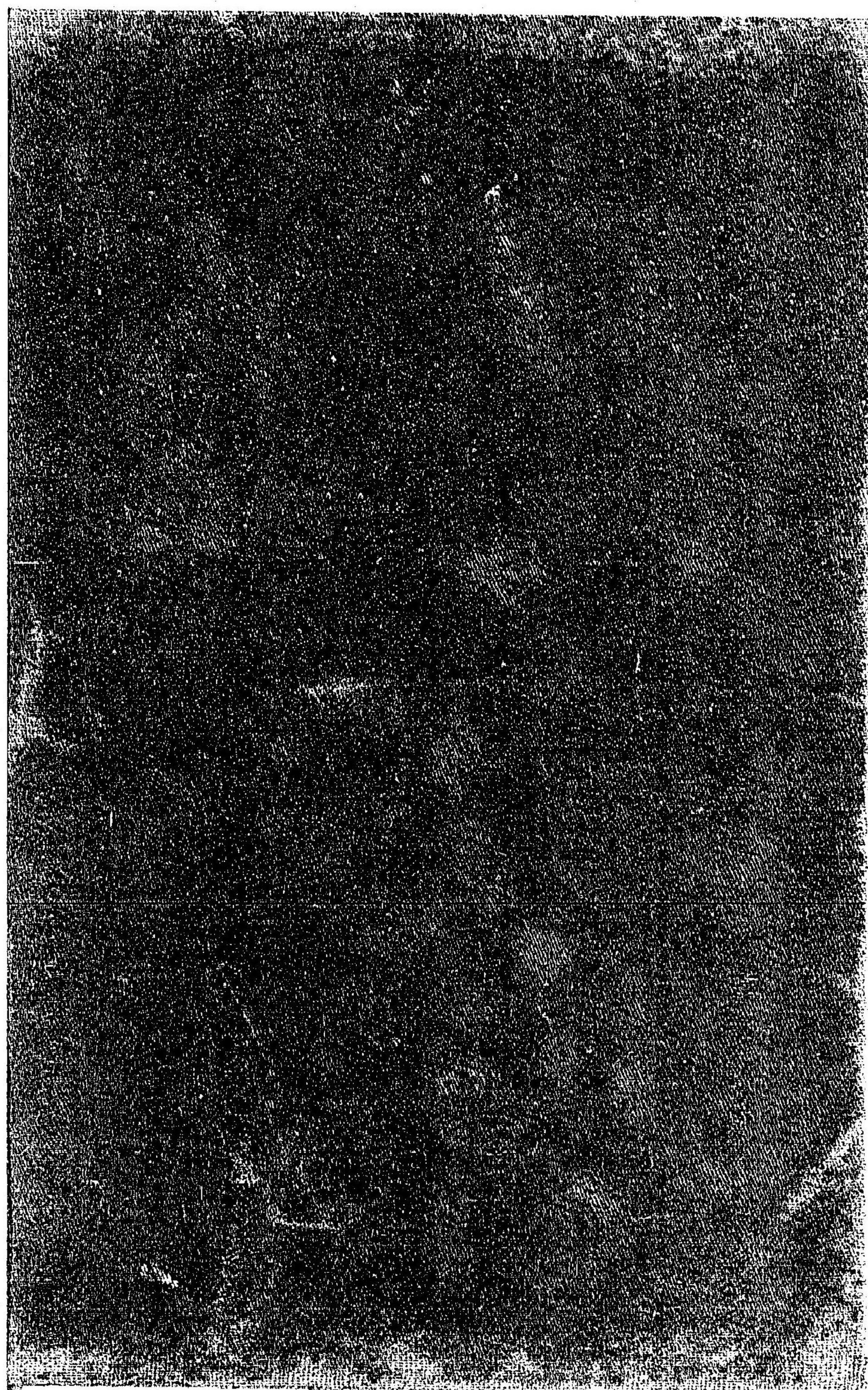
和合堂 總編 田田田

和合堂 總編 田田田

總編二十八

總編二十八

和合堂 總編 田田田



禁電子式複写

小
255

038664-000-7

CZ-1613-86-05

小学校法規

川上 新之助 / 編

M38

BCA-0310

